

平成30年11月15日

国立大学法人大分大学

九州地方整備局

大分河川国道事務所

現場の臨場感を学ぶ

～大分大学教養教育科目「道路施策概論」の現場視察の実施について～

国立大学法人大分大学と国土交通省大分河川国道事務所は、平成30年3月5日に覚書を締結し、10月より大分大学教養教育科目「道路施策概論」を開講。今回、授業の一環として、国土交通省の実施事業である中九州横断道路や熊本地震被災復旧箇所等の工事現場の視察を行います。

今回の取り組みは、産学官連携組織であるBUILD OITAとして、次代を担う建設人材を確保・育成する役割も担っており一般社団法人大分県建設業協会と協賛し行うものです。実施内容は下記の通りになりますのでお知らせします。

【日時】 平成30年11月17日（土） 9:00～17:00

【対象者】 大分大学 学生 86名

【現場視察の行程】 資料-1を参照

大分川ダム→中九州横断道路→「道の駅」すごう→滝室坂トンネル→熊本地震被災復旧箇所

【参考】 道路施策概論の概要 資料-2を参照

【協賛】 一般社団法人 大分県建設業協会

BUILD OITA おおいた建設人材共育ネットワーク

【問い合わせ先】

国立大学法人 大分大学

電話：097-554-6850

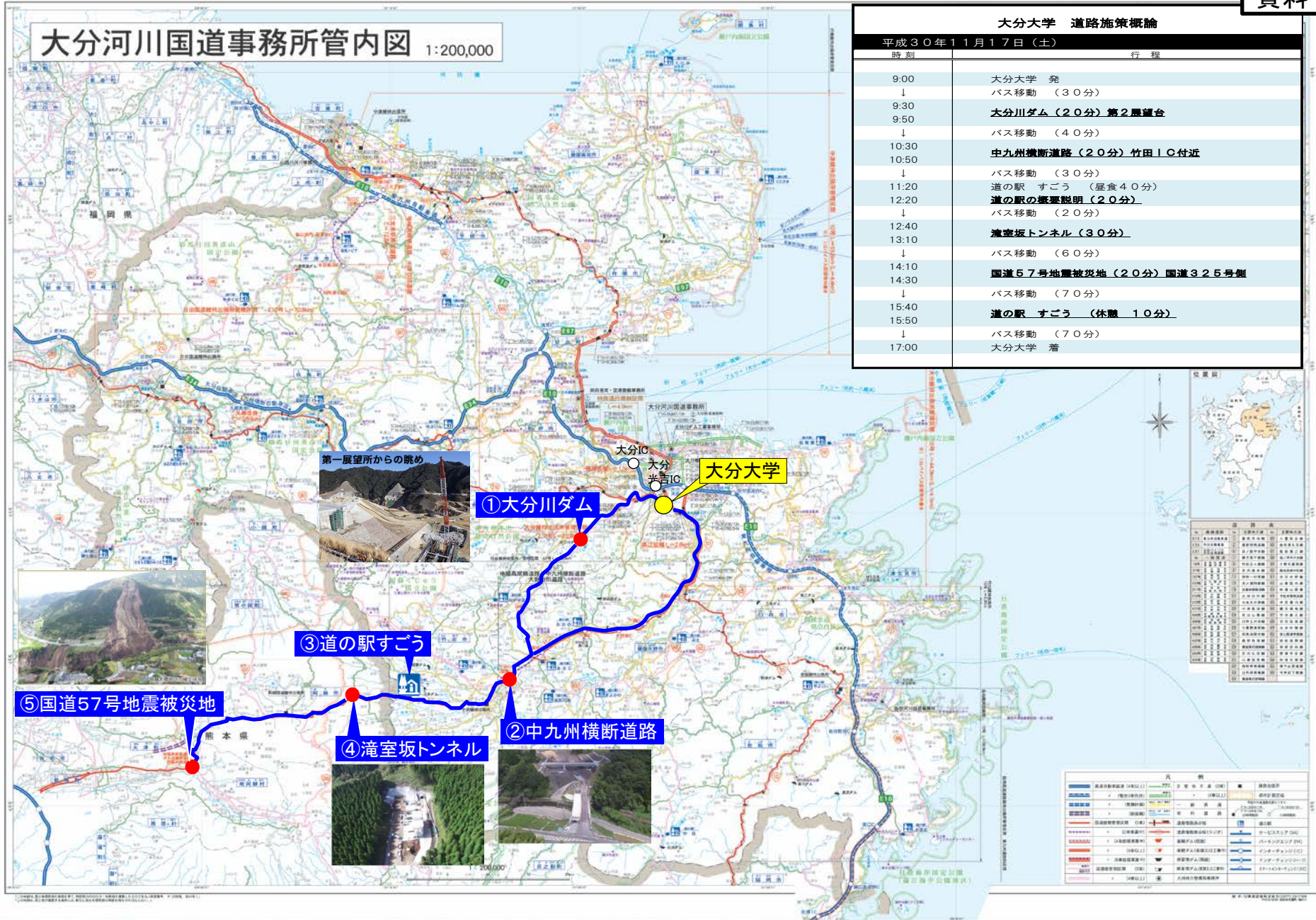
学生支援部教育支援課 主査 布施 覚弘（ふせ かくひろ）

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

電話：097-544-4167（代表）

総務課長 楠田 哲治（くすだ てつじ）

大分河川国道事務所管内図 1:200,000



大分大学 道路施策概論
平成30年11月17日(土)

時刻	行程
9:00	大分大学 発
↓	バス移動 (30分)
9:30	大分川ダム (20分) 第2展望台
↓	バス移動 (40分)
10:30	中九州横断道路 (20分) 竹田IC付近
↓	バス移動 (30分)
11:20	道の駅 すごう (昼食 40分)
12:20	道の駅の概要説明 (20分)
↓	バス移動 (20分)
12:40	滝室坂トンネル (30分)
↓	バス移動 (60分)
14:10	国道57号地震被災地 (20分) 国道325号側
↓	バス移動 (70分)
15:40	道の駅 すごう (休憩 10分)
↓	バス移動 (70分)
17:00	大分大学 着

1964年の東京オリンピック開催を契機に、

日本のインフラは大きく変化しました。

2020年の二度目の東京オリンピックに向けて

現在、各地で様々な取組が考案・実施されています。

さて、そのさらに10年後、2030年。

社会に出たあなたは何をしていますか？

学
ぶ
べ
き
も
の
た
め
に
未
来
の
た
め
に
い
ま
ま

日本の「土台」を学ぶ

道路施策概論

| 授業の狙い

本講義では道路整備や管理の実務を学ぶ。さらに、社会経済の状況と道路整備や施策との関係を概観する。これにより、我が国における地域や国土の課題を理解するとともに、解決に向けたマネジメントする視点を養い、最新の道路施策の動向を通じて、我が国における道路整備等の方向性を見通すことができることを目指す。

| 具体的な到達目標

- ・道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割を説明できる。
- ・道路の計画や整備、管理や防災対策における重要な視点を説明できる。
- ・我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題を説明できる。
- ・我が国における最新の道路施策の動向を説明できる。
- ・道路を取り巻く課題を踏まえ、我が国及び地域における今度の道路施策のあり方を論述できる。

いまだ かずのり

講師：今田 一典 昭和39年(1964年)12月29日生 (53歳)



昭和58年(1983年) 4月

巖木ダム工事事務所 工務課 採用

平成8年 (1996年) 4月

近畿地方建設局 兵庫国道工事事務所 復興工事課 工事第三係長

平成27年 (2015年) 5月

国土交通本省 道路局 国道・防災課 道路防災対策室課長補佐

平成29年 (2017年) 4月

大分河川国道事務所 所長

I 講義プログラム -「道路インフラ最前線」を理解する-

日程	講義題目	講義概要
第1回	道路の歴史と役割	道路の基本的役割を学んだ上で、私たちの身近にある「道路」の歴史を振り返る。道路が果たしてきた役割と、これからの社会・経済の発展に期待される役割について学ぶ。
第2回	道路の計画と整備	道路計画の目的・調査検討の概要を説明。道路整備に必要な手続きとして、環境影響評価、事業評価、調査・設計、用地買収、工事や整備後の維持管理について学ぶ。
第3回	建設業と公共工事の今後の展望	社会資本整備を取り巻く状況から公共工事の担い手や調達の仕事の仕組みを説明。道路交通に関する技術革新やi-Constructionの推進について学ぶ。
第4回	社会インフラの維持管理	道路を常時良好な状態に保つための日常管理と情報管理を説明。今後更新の時期を迎える道路施設の老朽化の現状とインフラマネジメントについて学ぶ。
第5回	災害と防災対策	近年多発する異常気象に伴う災害の対応から地震をはじめ豪雨による水害・土砂災害、雪害等への対策と体制について学ぶ。
第10回	高速道路及び道路のITS	高速道路の整備手法、整備状況、スマートIC、渋滞対策等の各種施策や道路分野のコンセッション方式の導入について学ぶ。また、高度道路交通システム（ITS）の最新の施策、道路管理の高度化、更に今後の自動運転について学ぶ。
第11回	道路の渋滞対策・交通安全対策 他の交通モードとの連携	渋滞・事故の現状と対策について考える。我が国の公共交通の現状や海外の取組を説明。道路施策と物流の現状から物流生産革命の必要性やそれに向けた道路施策について学ぶ。
第12回	身近な道路施策と地域との連携	身近な道路施策として、無電柱化、ユニバーサルデザインとバリアフリー、自転車利用環境の創出、道の駅や観光について学ぶ。
第13回	グループディスカッション	グループ編成およびグループディスカッションを行い、次回講義で発表する内容を議論。
第14回	グループディスカッション発表	前回講義で議論したテーマに対するアイデアを発表。
第15回	学生1分間スピーチ	これまでに学んだ講義について思ったことや感じたことを1分で説明。

I 現地プログラム -現場の臨場感を学ぶ-

実施日：平成30年11月17日(土曜日)

第6回	大分川ダム	国土保全・利水・治水を目的とする大規模な社会資本整備の現場を視察
第7回	中九州横断道路 朝地IC～竹田IC	大分と熊本、九州縦貫道と東九州自動車を結ぶ地域高規格道路整備の現場を視察
第8回	竹田市まちづくり	竹田町を中心とした城下町再生の取り組み現場を視察
第9回	R57号 滝室坂トンネル	災害時における代替路を確保し、災害に強いネットワークを形成する現場を視察



中九州横断道路(竹田IC)



滝室坂道路 トンネル坑口(熊本側)